

## お知らせ

二学期が始まりました。大きな事故もなく夏休みが過ごせたことを大変うれしく思います。早速、9月7日（水）から2泊3日で北九州方面に修学旅行に行ってきました。長崎県の五島では大自然の中で、地域の人との交流を楽しんだり、各家庭で様々な体験活動を行ったりしました。3年生には思い出に残る旅行になったことと思います。

### ○ 県内の学校で第1号となる「あいサポート運動」に参加

障害者の方への理解や思いやりの心を養うために、岡山県が推進している「あいサポート運動」に参加することといたしました。

「障害は誰にでも生じる可能性がある。」という考えの基に、障害のある人や困っている人に、優しく接するとともに自分の意思でちょっとした手助けをしていこうという運動です。

山陽新聞にも記事が載っていましたが、9月2日に県障害福祉課の方にビデオを見ながら目や耳の不自由な人への具体的な行動の仕方を指導していただきました。

### ○ 運動部活動に強力な助っ人（県下の中学校で2校）

岡山県教育委員会が実施するアスレチックトレーナー（AT）派遣事業に本校が選ばれ、年間約30回、スポーツの主にトレーニングに関する指導をしてくださる専門の人が本校へ来て指導してくれます。

ATという指導者については、聞いたことのない方が多いと思いますが、一流のスポーツクラブ等には必ず所属していて、スポーツ医・科学面で専門的な見地と指導力を有していて、けがの防止やコンディショニングなど総合的に体力の向上を支援してくれます。

☆部活動で体力面等の相談は顧問を通して受け付けています。

### ○ 英会話教室の実施

今学期から3年生の希望者を対象にオールイングリッシュの英会話教室を週1回、ALTの先生に指導を依頼して開催しています。この教室が始まると、一切日本語はなしです。生徒は大丈夫かなと思いましたが、1回目が終わって感想を聞くと「普段の英語の授業より楽しい」という感想もあり今後成果が上がることを期待しています。

### ○ 校内の様子

10月8日9日の2日間開催予定の感謝祭に向けて、各クラス一丸となって取り組みを進めています。盛大な祭りができればと教職員も頑張っています。

今年度は、地域貢献の一環として、初めて社会福祉協議会と連携して一人暮らしの老人の方にも見に来ていただこうと取り組みを進めています。

中学校も何か一つでも、地域の力になればと思って企画してみました。ご協力をお願いいたします。

作成者

校長 山本 正広

(Tel.086-995-0004)

裏面もご覧ください。

# トップ選手と腕磨く 18日から全柔連合宿

全日本柔道連盟の

赤磐・磐梨中2年佐藤さん

「全日本男子ジュニア強化合宿」(18、21日・東京)に、赤磐市立磐梨中学校2年佐藤良平さん(14)が参加する。2020年の東京五輪以降を見据えた選手育成の場で、県内の中学生では1人のみ。「全国のトップ選手と腕を磨き、レベルアップしたい」と意気込んでいる。

佐藤さんは身長161センチ、体重87キロで、背負い投げが得意。4歳



強化合宿に備え、練習に励む佐藤さん

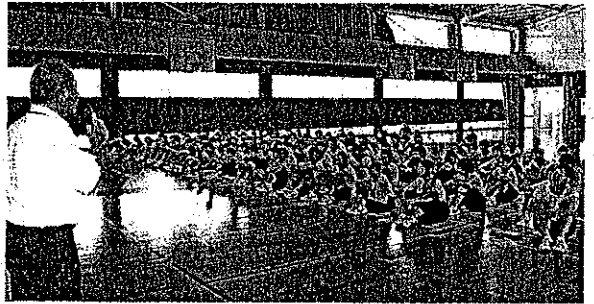
の時に柔道を始め、小学6年生の時に同連盟の強化合宿に参加した。今回は8月に新潟県であった全国中学校柔道大会の個人90キロ級が決まった。合宿は東京都北区の味の素ナショナルトレーニングセンターで実施。同連盟の強化委員

会による技術指導をはじめ、栄養学の講義や、世界大会をビデオ観戦して試合運びを研究する座学などもあり、一流選手に必要な基礎を身に付ける。

「県代表の気持ちで臨み、将来につながるよう多くのことを学んでくる」と佐藤さん。中学の部活動と、小学時代から通う磐梨武道館(同市沢原)でほぼ毎日練習し、合宿に備えている。

同武道館の河本和三監督(47)は「90キロ級選手の中では背は低いトップ選手との合宿ですが、俊敏さを備え、練に成長してほしい」と習熟度も真面目。トッリ期待する。(伊東圭一)

障害者支援運動に理解を  
赤磐・磐梨中で研修  
磐梨中学校(赤磐市沢原)で2日、県が進める障害者支援活動「あいサポート運動」の研修会(県主催)があり、全校生徒や教職員計約190人が障害者の特性を知り、率先



「あいサポート運動について学ぶ生徒たち」  
同中が7月、同運動に賛同する「あいサポート企業・団体」に県内の小中高校で初めて認定されたことを受け開いた。「ちょっとした手助け」を掲げる取り組み。2009年に鳥取県で始まり、岡山県も今年1月から展開。県内に

は同中を含め63の認定団体がある。(伊東圭一)